

新年を迎えて 平成25年1月吉日

会長 田中 秀宝



あけましておめでとうございます。昨年は、初例会に始まり、メイン事業であります熱海YMCAサマーキャンプにおきましては、多くのメンバーの協力により、子供たちには夏の素晴らしい経験と思い出を創ることが出来ました。特に自衛隊の基地において、戦車の体験乗車や隊員と同様の食事を食べるなど、またとない体験を提供できたと思っています。この事業を皮切りに、10月には熱海クラブのホストによる3クラブ合同例会、そして、クリスマス家族会など、計画通りに事業を進めることができましたことは、メンバーの皆様のおかげと心より感謝を申し上げます。

更に、懸案であります、メンバーの確保につきましては、新たに山田光一ワイズ、藤村ワイズ、緒方ワイズの3名が入会するなど、今後の活動に大きな原動力になることは言うまでもありません。今後とも、新会員の確保に情報提供等、ご尽力をお願いします。

さて、折り返しである、後期を迎えたわけですが、早速、年賀はがきコンテストの開催や、冬のメイン事業であります、熱海YMCAスキー教室の開催が控えております。更には、来年度の役員構成の決定や、創立50周年の実行委員会の設置など、気を抜く暇がありません。これらは、どれ一つとっても、委員会メンバーだけで事業が遂行できるものではありません。熱海ワイズメンズクラブの更なる飛躍に向けてメンバー皆様の絶大なるお力添えを切にお願いするとともに、今年一年が、皆様にとって素晴らしい年でありますことを祈念いたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金

CS・TOF委員長 越村 修



昨年の12月14日に開催しました年末の助け合い共同募金では、田中会長始め多数のワイズメンバーに出席を頂き無事に終了しました。当日は、委員長の力不足で、メンバーの皆様にご協力頂いたにも関わらず、思うような募金額は達成できませんでしたが、それでも年配の方が、

「少ないけどがんばってね」と言われ募金をして頂いた事が、印象に残っております。さてH24年度共同募金運動目標額は、共同募金委員会では448万6千円と示されており、その用途は「サマーショートボランティア」や「ボランティア講座」さらには「ふれあい、いきいきサロン」運営費などに使われる事と聞いております。

高齢化率が40%を超える熱海市において、少しでも



熱海ワイズメンズクラブが、共同募金を行い、福祉向上に貢献できた事に、クラブ事業の重要性を感じた1日となりました。

熱海市市民安全大会

CS・TOF委員長 越村 修



今年の、市民安全大会は「共同募金」と同日開催とさせて頂きメンバーの皆様も募金活動の後、そのまま参加して頂いた方も多く、多数の参加を頂きました。市内パレードでは、今年も例年同様約30団体が参加し、多賀中学校の吹奏楽部が奏でる行進曲で、渚小公園を出発。熱海警察署員が国道を規制している姿を見て「警察官も大変だなあ」などと感じながら歩き進める。街中を歩く時に、いつも気になるのは、ビルの上階から何人ぐらいの方が関心を寄せているのか?である。そういった意味では、斉藤ワイズの目線もビルの上階に向けられている事が少なくなく、市民を発見すると、素早く「空に向かって」手を振る。私も含めてこれはほとんど「職業病の一種」ではないか?などと妙な納得をしながらパレード終了。大会では、飲酒運転の撲滅や、暴力団を恐れない、利用しない。住みよい熱海の実現など宣言され、無事終了となりました。参加されましたワイズメンバーの皆様ご苦労さまでした。

